



2025年2月12日

各位

会社名 日揮ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 CEO 佐藤 雅之
(コード番号 1963 東証プライム市場)
問合せ先 戦略企画オフィス経営企画ユニット
コーポレートコミュニケーション
グループマネージャー 山上 晃弘
(電話 045-682-8026)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年5月14日に開示した2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)の通期業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

I 通期業績予想の修正について

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

(金額単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A) (2024年5月14日発表)	830,000	26,000	34,000	23,000	95.39
今回修正予想(B)	830,000	△14,000	6,000	△4,000	△16.56
増減額(B-A)	0	△40,000	△28,000	△27,000	—
増減率(%)	0.0	—	△82.35	—	—
(参考)前期実績 (2024年3月期)	832,595	△18,995	358	△7,830	△32.48

2. 通期業績予想修正の理由

台湾で遂行中のLNG受入基地建設プロジェクトにおいて、顧客から一部の建設用地の引渡しが遅延しており、再三その解消を求めてきましたがその解消時期が見通せないと判断せざるを得ない状況となったことから、完工予定を大幅に見直すことが必要となりました。これにより建設工事費用の見積額が大幅に増加し、新たに損失引当を行うこととなりました。

サウジアラビアの建設工事で起用しているサブコントラクターが財務的困難に陥り、給与の遅配やストライキの発生などの問題が表面化したため、同国で遂行中の2件の建設プロジェクトにおいて、工事遂行上のリスク対応費用や計画変更による工事の立て直しのための追加費用を見込む必要が生じました。

カナダで遂行中の大型 LNG プラント建設プロジェクトでは建設工事が最終段階を迎え、完工に向けて作業を促進するため熟練工の追加動員を行っており、そのため建設工事費用が増加しました。これを受けて今期計上を見込んでいた利益額が減少いたしました。

これらの総合エンジニアリング事業における遂行中プロジェクトの採算変動の結果、大変遺憾ながら 2025 年 3 月期の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が減少する見通しとなりました。

なお、本業績予想に使用している第 4 四半期の想定為替レートは 1 米ドル=150 円です。

II 配当予想について

当社は、配当政策として配当性向を親会社株主に帰属する当期純利益の 30%を目途とし、かつ 1 株当たり年間配当額 40 円を下限とすることを掲げており、2025 年 3 月期の年間配当金は、1 株当たり 40 円を予定しておりました。この度の業績予想の修正により親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見通しとなりましたが、手元流動性の状況と今後の見通しなどを勘案の上、年間配当金予想は変更いたしません。

(注)上記の予想は、当社が本業績予想修正の発表日において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる結果となる場合があります。

以上